

# 「日本夜景遺産」に認定

昭和を感じる  
眺望が評価

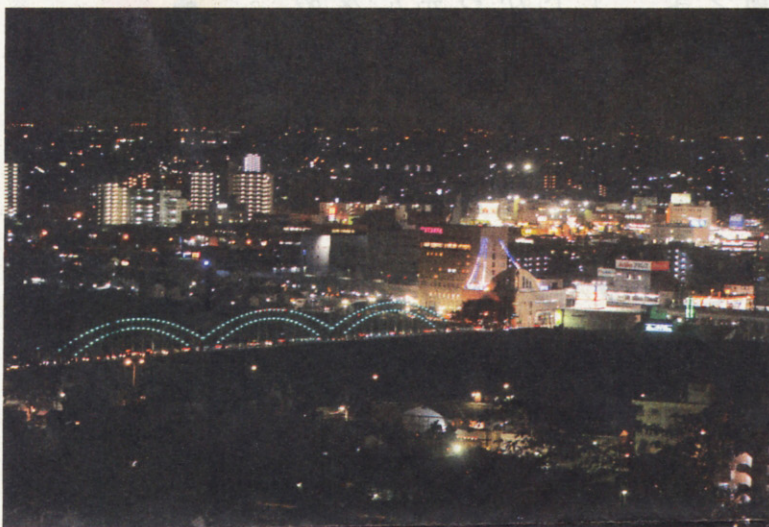
市、滞留型観光充実へ

## 織姫公園と足利織姫神社

「日本の原風景的な夜景で、後世に残したい」（同法人）と評価された。市観光振興課は今後、夜景スポット巡りのモデルコースをつくるなど「夜景のまち」をアピールし、滞留型観光の充実を図る。

（おおたけいすけ  
太田啓介）

【足利】西宮町の織姫公園と足利織姫神社がこのほど、一般社団法人「夜景観光コンベンション・ビューロー」（東京）の「日本夜景遺産」に認定された。同公園やライトアップされた同神社から一望できる市街地の夜景が「昭和の匂いを感じ



日本夜景遺産の認定は、日本の美しい夜景を掘り起こし、付加価値を付けて全国や世界にアピールしようと2004年から開始。こ

としは、同公園・神社と、足利フラワーパーク（追問町）の藤ライトアップの本県2カ所を含む15カ所。今回で夜景遺産は計190カ所となり、県内では太平山（栃木市）や奥日光湯元温泉雪まつり（日光市）を含めた6カ所となった。

同法人によると、織姫山の山頂（標高118㍎）の同公園と中腹にある同神社から別々の視点で足利市街が一望できることが評価された。特に同公園からは現代的な雰囲気、荘厳にライトアップされた同神社からはみやびやか

な雰囲気、夜景が楽しめ、天気がいい日は東京スカイツリーを見ることができるといふ。

同課は、7月に同神社がNPO法人地域活性化支援センターの「恋人の聖地」にも認定されているため、若い世代へのPRを進めて市内の宿泊客増加を図る。ライトアップしている中橋などのスポットも含めた夜景巡りのモデルコース設定や、夜景写真コンテスト実施なども検討している。

同課は「足利フラワーパ

ークとも連携し、相乗効果を出しながら滞留型観光を創出したい」としている。

日本夜景遺産に認定された  
織姫公園からの夜景